

# 株主の皆様へ

第163期 中間報告書 2023年4月1日 ▶ 2023年9月30日



## Contents

株主の皆様へ	1
財務諸表	3
財務ハイライト	4
トピックス	5
株式・会社情報	6

100年の技術と信頼を明日へ



広栄化学株式会社

証券コード：4367



代表取締役社長  
社長執行役員

両本 啓

平素は格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

当社の第163期中間報告書をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

わが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類に移行したことに伴い、経済活動の正常化が進み、景気は緩やかな回復基調がみられました。しかしながら、ロシア・ウクライナ紛争の長期化、原材料価格や食料価格の高騰、世界的なインフレの加速、不安定な為替の動向等、国内外における経済の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社は、売価是正、拡販に注力するとともに、生産の合理化・効率化等による一層のコスト削減に取り組み、全社を挙げて収益確保に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期累計期間の売上高は、医薬品関連化学品は欧州向けの医薬品関連製品の需要が増加しましたが、機能性化学品は触媒関連製品の出荷が減少したこと等により、83億25百万円（前年同四半期比7.6%減）となりました。利益面では、売価是正の一定の成果等の増益要因があったものの、マルチプラント（CMVプラント）稼働に伴う減価償却費の増加や販売数量の減少等の減益要因により、営業利益は2億79百万円（前年同四半期比71.6%減）、経常利益は2億55百万円（前年同四半期比74.8%減）、四半期純利益は1億73百万円（前年同四半期比77.1%減）となりました。

業績面では目標とのギャップが大きいと言わざるを得ませんが、中期経営計画「伝承と挑戦」KX2.0で掲げた個々のアクションプランは着実に進捗しております。以下、中期経営計画の3つの基本方針に対する具体的な取り組みをご紹介します。

「事業成長戦略加速」としては、昨年完成した最新鋭マルチプラントCMVの稼働開始に加えて、研究と製造の橋渡し役として本年秋完成した研究パイロットプラントの稼働開始が挙げられます。これにより、工業化のスピードアップ、少量サンプルの供給と少量高付加価値製品の生産対応が可能となりました。また、住友化学グループとの連携強化にも努めており、既に複数品目の工業化検討が進んでおります。

「経営基盤強化」は、DX（デジタル革新）、MX（マネジメント革新）、GX（ガバナンス革新）、SX（サステナビリティ革新）の4つの分野で着実に取り組みを進めております。このうちDXに関しては、部署横断的な25のプロジェクトを各分野で進めるとともに、全社のDXリテラシー向上に向けて全役員・社員を対象にeラーニングを実施しています。

「人材育成強化・加速」については、マネジメント強化、中堅社員の育成と若手社員の早期戦力化、人事制度の見直しを進めており、特に中堅・若手社員のレベルアップと早期戦力化に焦点を当ててプログラム見直しを進めているところであります。また、本年2月に当社として初めて従業員意識調査を実施し、今後は調査結果を従業員のエンゲージメント向上につなげる等、人的資本の充実に積極的に活かしていきたいと考えております。

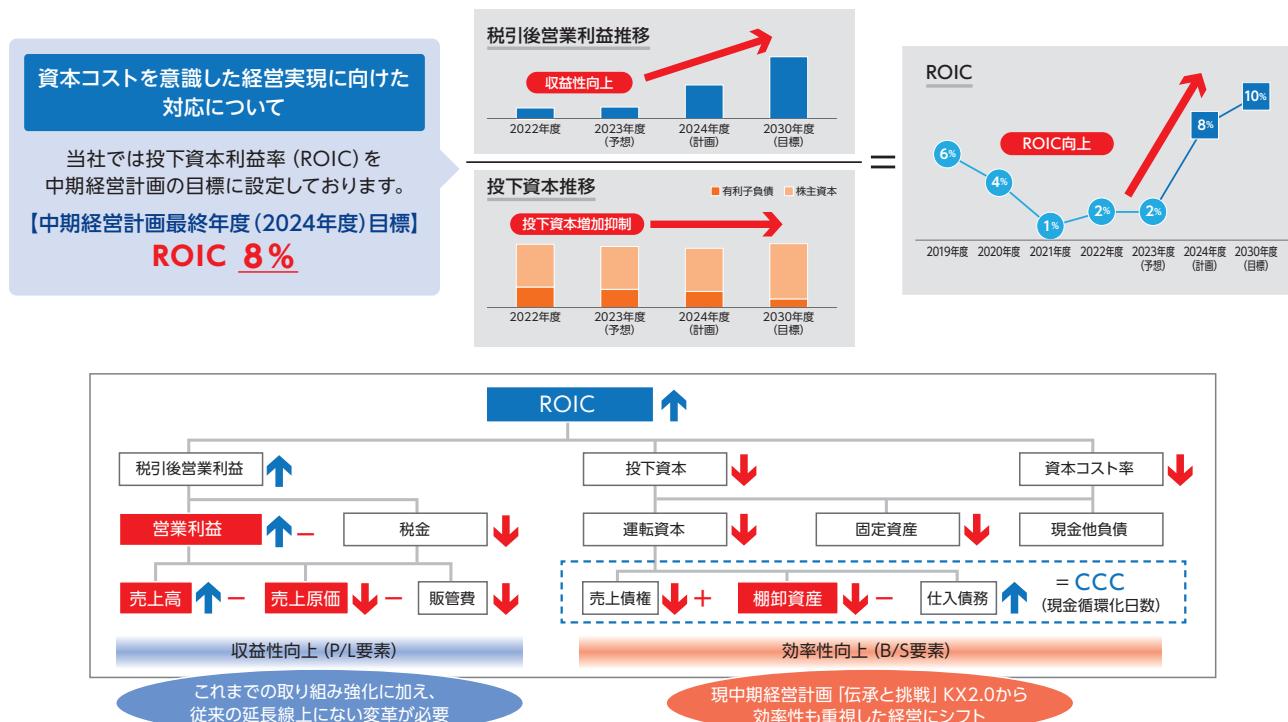
こうした中期経営計画の進捗や各種プロジェクトの取り組みについては、本年10月に発行いたしました「広栄化学レポート2023」で詳細をご説明しております。本報告書と合わせ是非一読賜りますようお願い申し上げます。

▶ P.5で詳しくご紹介しています

ところで、本年は、企業が資本コストや人的資本という視点で経営を考える必要があることを改めて強く意識させられた年でした。当社は、中期経営計画の最終年度である2024年度にROIC（投下資本利益率）8%を達成することを目標として掲げておりますが、現状のROICとの間には大きな乖離があり、相当な改善が必要であると認識しております。

昨今、事業環境が不透明さを増してきている状況にあり、目標達成のためには、従来の延長線上にはない新たな取り組みが必要不可欠であると考え、全社横断的なROIC向上プロジェクトを立ち上げました。ROIC向上に向けたKPIを設定し、KPIの達成に向けたアクションプランを従業員一人ひとりにまで落とし込んで、残りの中期経営計画期間中に改善を図っていきたいと考えております。また、人的資本に関しては、積極的に関連情報の開示を行っておりますが、今後は単なる開示に留まらず、具体目標の設定に努め、人的資本をより重視した経営へと転換を図って参ります。なお、資本コストを意識した経営の実現に向けた対応に関しては、当社ウェブサイトに掲載の当社決算説明会資料でご説明しております。本報告書と合わせて是非ご覧いただければと存じます。

<https://www.koeichem.com/ir/calendar.html>

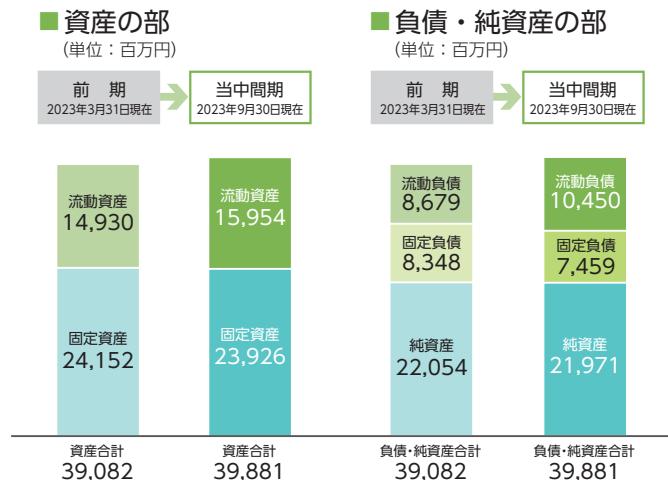


株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

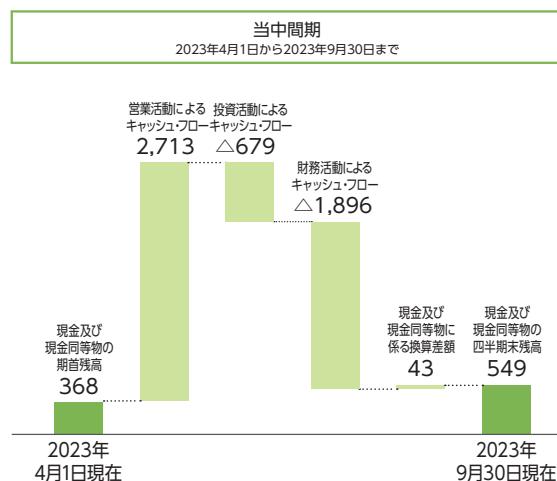
2023年12月

# 財務諸表

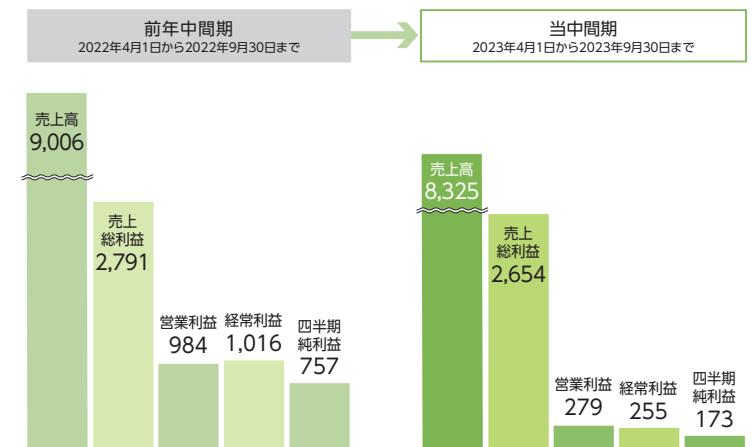
## 貸借対照表



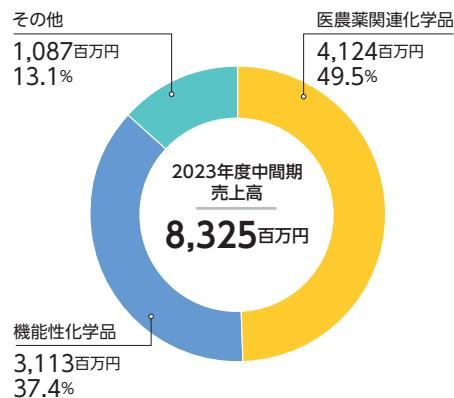
## キャッシュ・フロー計算書 (単位：百万円)



## 損益計算書 (単位：百万円)



## 製品グループ別売上高構成比



## 通期業績予想 2023年4月1日～2024年3月31日

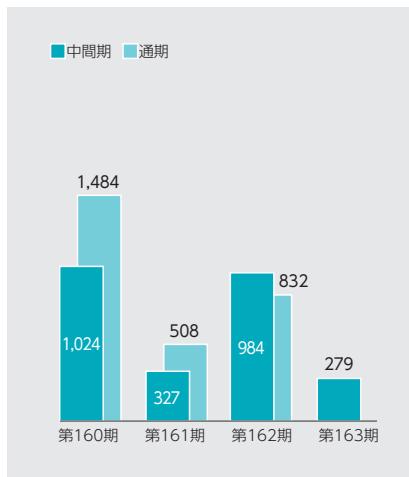
売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
20,800百万円	900百万円	840百万円	630百万円

# 財務ハイライト

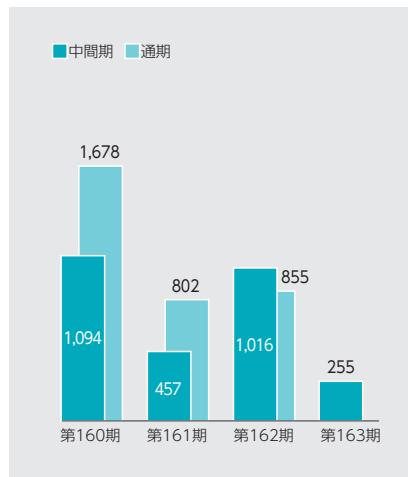
## 売上高 (百万円)



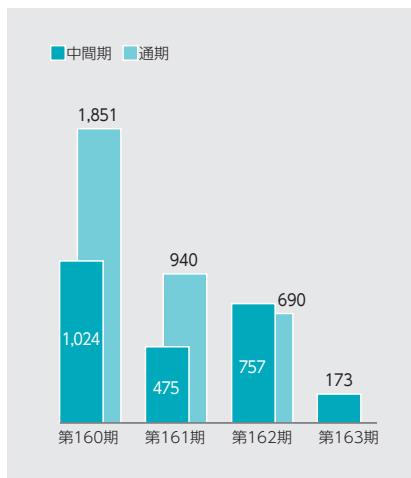
## 営業利益 (百万円)



## 経常利益 (百万円)



## 純利益 (百万円)



## 総資産 (百万円)



## 自己資本 (百万円) / 自己資本比率 (%)



株主の皆様へ

財務諸表

財務ハイライト

トピックス

株式・会社情報

### 研究パイロットプラント稼働

2023年10月、研究パイロットプラントの稼働を開始いたしました。本設備の稼働により、新製品の製造プロセスの確立や合理化検討を加速することができるようになります。本設備には100~300リットル規模の反応器、ろ過乾燥機に加えて、カラムクロマト精製設備を備えており、高純度製品等の高付加価値製品のキログラムスケールでの製造も可能となります。本設備の活用により、自社開発品及び医農薬中間体、有機金属触媒等の受託製品事業の拡大を図るとともに、新たな領域でのビジネス拡大を図ります。



### 広栄化学レポート発行



当社は、すべてのステークホルダーの皆様に向けて、2023年10月に『広栄化学レポート2023』を発行いたしました。

当社がどのように成長していこうとしているかについてご理解いただくために、経営として取り組む重要課題や中期経営計画『伝承と挑戦』KX2.0の進捗、価値創造の基盤となるガバナンスやコンプライアンス等の取り組みについて総合的に編纂いたしました。本年度版では、生産・技術部門、営業部門、研究開発部門のいわゆる「製販研」の担当役員が中期経営計画達成に向けて本音を語る座談会の掲載や人的資本に関する情報を充実させる等、当社の価値創造に向けた取り組みについてさらにご理解を深めていただけるよう工夫しております。

▶ 本レポートは、当社ウェブサイトのサステナビリティページに掲載しております。是非ご一読ください。

[https://www.koeichem.com/dcms\\_media/other/KoeiChemicalReport2023JP.pdf](https://www.koeichem.com/dcms_media/other/KoeiChemicalReport2023JP.pdf)

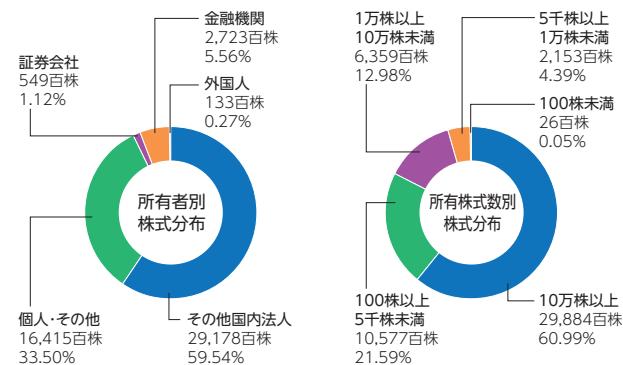
発行可能株式総数	16,000千株
発行済株式総数	4,900千株
株主数	2,929名

### 大株主

株主名	持株数	持株比率
住友化学株式会社	2,731千株	55.74%
近畿産業信用組合	240	4.90
種田 修	103	2.10
大塩 学而	61	1.26
阪本 重治	44	0.90
磯 雅弘	43	0.89
広栄化学社員持株会	39	0.80
丸石化学品株式会社	33	0.69
堀江 豊	33	0.68
山崎 孝二	26	0.54

(注) 持株比率は、自己株式(8,883株)を控除して算定しております。

### 株主分布状況



(注) 本報告書に記載しております数字は、金額・持株数については表示単位未満の端数を切り捨て、その他は四捨五入により表示しております。

### 会社概要 (2023年9月30日現在)

設立	1917年6月17日
資本金	23億43百万円
従業員数	423名 (嘱託、派遣社員、出向者除く)
事業内容	医薬、農薬、塗料、染料、各種合成樹脂の原料・中間体の製造及び販売他
事業所等	東京本社：東京都中央区日本橋小網町1番8号 千葉事業所(千葉プラント・千葉研究所)： 千葉県袖ヶ浦市北袖25番地
ウェブサイト	<a href="https://www.koeichem.com/">https://www.koeichem.com/</a>
証券コード	4367

### 役員一覧 (2023年9月30日現在)

代表取締役社長 社長執行役員	西本 麗	取締役 監査等委員(社外)	瀧口 健
取締役 常務執行役員	和田 英男	取締役 監査等委員(社外)	養老 信吾
取締役 常務執行役員	江川 彰彦	取締役 監査等委員(社外)	八田 陽子
取締役	深堀 敬子	執行役員	坂本 典保
取締役	小坂伊知郎	執行役員	大畑 尚志
取締役 監査等委員	近藤 憲二	執行役員	大山 明
		執行役員	浦 利和



「このシンボルマークは、「両手と分子模型」をデザインしたもので、化学物質を大切に扱うという趣旨を表しています。」



## 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで  
定時株主総会 毎年6月開催  
株主確定基準日 (1) 定時株主総会・期末配当 3月31日  
(2) 中間配当 9月30日

その他必要ある時は、あらかじめ公告して基準日を定めます。

株主名簿管理人及び  
特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社  
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
事務取扱場所 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
(郵便物送付先) 〒168-0063

東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) ☎ 0120-782-031

(インターネット)  
ホームページURL) <https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/>

公告の方法 当社のウェブサイトに掲載いたします。  
<https://www.koeichem.com/>

上場証券取引所 東京証券取引所スタンダード市場

### 株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について

証券会社の口座をご利用の場合は、三井住友信託銀行ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。証券会社の口座のご利用がない株主様は、上記の電話照会先までご連絡ください。

### 特別口座について

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます)を開設しております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

### 単元未満株式の買取増制度について

単元未満株式(100株未満の株式)を、当社と売買いただく制度(単元未満株式買取及び買増請求の制度)がございます。売買をご希望される場合は、お近くの三井住友信託銀行株式会社の本・支店にご連絡ください。

### 配当金のお支払期限について

配当金は、支払開始の日から満3年を経過しますと、定款の規定によりお支払いできなくなりますので、お早めにお受け取りください。

## ウェブサイトのご案内

ウェブサイトにて最新のIR情報等をご覧いただけます。



↑  
QRコードからも  
ウェブサイトに  
アクセスできます。

広栄化学

検索

<https://www.koeichem.com/>

## 配当金は口座振込でも受け取ることができます。

配当金を郵便局の窓口で  
お受け取りの場合

- 受け取り忘れのリスクがあります。
- 郵便局へ行く手間がかかります。

口座振込に指定する場合

ご指定の口座に振り込まれるため、  
配当金のお支払い開始日に確実に  
お受け取りができ、大変便利です。

### お手続きに関するお問い合わせ先

- 証券会社に口座をお持ちの株主様は、お取引口座のある証券会社へお問い合わせください。
- 証券会社に口座がない株主様は、左上に記載の電話照会先へお問い合わせください。

100年の技術と信頼を明日へ



広栄化学株式会社

東京本社  
〒103-0016 東京都中央区日本橋小網町1番8号  
電話 (03) 6837-9300(代表)

UD FONT

見やすく読みまちがえにくいユニバーサル  
デザインフォントを採用しています。



この報告書は、FSC®認証紙を使用して  
印刷しています。